

第六次国有林野施業実施計画書

第四次変更計画 (南予森林計画区)

自 令和 4 年 4 月 1 日
計画期間
至 令和 9 年 3 月 31 日

[変更年月 令和 8 年 3 月]

四国森林管理局

第六次国有林野施業実施計画（南予森林計画区）の変更について

国有林野管理経営規程（平成11年1月21日付け農林水産省訓令第2号）第14条第2項に基づき、以下のとおり変更する。

なお、本変更計画は、令和8年4月1日から適用する。

【変更理由】

- ① 多様な森林づくりの推進のため、施業群及び上限伐採面積を変更
- ② 林分状況等による主伐の見直しのため、主伐量及び更新量を変更
- ③ 密度調整が必要な林分の見直しのため、間伐量を変更
- ④ 保安林機能の回復に必要な治山事業を行うため、治山計画を追加

【変更する項目】

- 2 施業群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量
 - (2) 水源涵養タイプにおける施業群別面積
 - (3) 水源涵養タイプの施業群別の上限伐採面積
 - (4) 伐採総量
 - (5) 更新総量

5 治山に関する事項

※本計画書内に関して共通する注釈

1. 集計表は、単位未満四捨五入により、計と内訳が一致しない場合がある。
2. 下線部は、変更箇所である。

2 施業群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量

(2) 水源涵養タイプにおける施業群別面積等

(単位：ha)

施業群		面積	取扱いの内容	伐期齢
施業群	スギ分散伐区	236	育成単層林施業 概ね 5ha 以下	45 年
	ヒノキ分散伐区	629	〃 〃	50 年
	スギ長伐期	753	〃 〃	90 年
	ヒノキ長伐期	5,483	〃 〃	100 年
	複層林	459	育成複層林施業 概ね 20ha 以下	80 年
	ヒノキ長伐期複層林	2	〃 択伐	定めない
	択伐	1,080	天然生林施業	定めない
	ぼう芽分散伐区	27	育成単層林施業 概ね 5ha 以下	15 年
施業群設定外		17		
合計		8,685		

注：施業群設定外は試験地等である。

(3) 水源涵養タイプの施業群別の上限伐採面積

(単位：ha)

施業群分類	上限伐採面積	備考
通常伐期施業	98	スギ分散伐区、ヒノキ分散伐区、ぼう芽分散伐区
長伐期施業	316	スギ長伐期、ヒノキ長伐期
複層林施業	58	複層林、ヒノキ長伐期複層林
天然林・その他施業	定めない	その他複層林、択伐

注：契約に基づいて主伐を実施する分収林については、水源涵養機能の発揮に支障がない限り、箇所ごとの伐採面積の合計が上限伐採面積を超えて定めることができる。

(4) 伐採総量

(単位：m³、ha)

区 分	林 地					林地 以外	合 計
	主 伐	間 伐	小 計	臨 時 伐採量	計		
山地災害防止タイプ	—	6,098 (41)	6,098				
自然維持タイプ	—	—	—				
森林空間利用タイプ	—	7,955 (56)	7,955				
水 源 涵 養 タ イ プ	スギ分散伐区	1,291	—	1,291			
	ヒノキ分散伐区	39,376	1,165 (9)	40,541			
	スギ長伐期	—	26,308 (202)	26,308			
	ヒノキ長伐期	—	236,395 (1,870)	236,395			
	複層林	9,656	20,773 (135)	30,429			
	択 伐	—	2,840 (32)	2,840			
	施業群設定外	—	363 (2)	363			
	計	50,323	287,844 (2,250)	338,167			
合 計	50,323	301,897 (2,347)	352,220	16,580	368,800	—	368,800
年 平 均	10,172	60,369 (466)	70,541	3,316	73,857	—	73,857

注：（ ）は、間伐面積である。

(再掲) 市町村別内訳

(単位：m³)

市町村名	林 地					林地 以外	合 計
	主伐	間伐	小計	臨時 伐採量	計		
宇和島市	10,058	<u>151,036</u>	<u>161,094</u>				
松野町	3,557	<u>47,441</u>	<u>50,998</u>				
鬼北町	22,429	16,255	38,684				
愛南町	<u>14,279</u>	<u>87,165</u>	<u>101,444</u>				
計	<u>50,323</u>	<u>301,897</u>	<u>352,220</u>				

注：臨時伐採量及び林地以外の土地に係る伐採量は含まない。

(5) 更新総量

(単位：ha)

区 分		山地災害 防止タイプ°	自然維持 タイプ°	森林空利用 タイプ°	快適環境 形成タイプ°	水源涵養 タイプ°	合 計
人工 造林	単層林造成	—	—	—	—	<u>111</u>	<u>111</u>
	複層林造成	—	—	—	—	<u>23</u>	<u>23</u>
	計	—	—	—	—	<u>134</u>	<u>134</u>
天然 更新	天然下種第1類	—	—	—	—	—	—
	天然下種第2類	—	—	—	—	—	—
	ぼう芽	—	—	—	—	—	—
	計	—	—	—	—	—	—
合 計		—	—	—	—	<u>134</u>	<u>134</u>

5 治山に関する事項

位置(林班)	区分	工種	計画量
2006、2008、2010、2011、2013、 2015、2016、2017、2019、2021、 2022、2030、2033、2038、2039、 2040、2051、2056、2059、2061、 2063、2064、2065、2072、2073、 2083、2084、3068、3069、3071、 3074、3075、3076、3077、3079、 3082、3083、3086、3087、3088、 3089、3093	保安林の整備	その他 (森林整備)	47.30ha
[2001～2004]、[2008～2012]、 [2013～2016]、[2030～2036]、 [2043]、[2046～2049]、 [2061～2072]、[2077]、 [3068～3080]、[3087～3090]	保全施設	溪間工	10箇所
[2061～2072]、[2077]		山腹工	2箇所
合計	保安林の整備	その他	47.30ha
	保全施設	溪間工	10箇所
		山腹工	2箇所
		計	10箇所

注1：林班[]の区分は、事業評価の地区単位。

注2：保全施設の計は、溪間工・山腹工で重複する箇所は1箇所として集計した。

注3：災害復旧等緊急を要する場合には、計画箇所以外においても実行可能。